

地方創生関係交付金を活用した事業の 立案・改善に係るチェックリスト

本チェックリストは、地方創生関係交付金を活用した事業の立案・改善を行う際に、その内容が「地方創生事業実施のためのガイドライン 地方創生関係交付金を活用した事業の立案・改善の手引き」に基づいたものとなっているかを確認するためのものです。この「地方創生事業実施のためのガイドライン」は、地方公共団体が、地方創生関係交付金を活用した事業に取り組むにあたり、①**今後の新たな事業の企画・立案**や、②**実施中の事業の効果検証・改善**などの参考にさせていただくことを目的としています。詳細な内容については、ガイドラインの総論をご参照ください。

重要視する7つの「先導性要素」について

総論 P7

地方創生関係交付金は、「地方版総合戦略」に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を複数年度にわたり安定的・継続的に支援することにより、地方創生の深化・高度化を促すものです。

地方創生関係交付金による支援対象事業については、下記に示す7つの「先導性要素」が重要と考えています。

要素1：自立性

要素2：官民協働

要素3：地域間連携

要素7：デジタル社会の形成への寄与

要素4：政策間連携

要素5：事業推進主体の形成

要素6：地方創生人材の確保・育成

KPI（重要業績評価指標）の設定について

総論 P15

地方創生関係交付金事業の自立性を確立するためには、①**事業のマネジメントサイクル（PDCA）への意識を高めること**、②**“確かなPDCAサイクルの稼働”を実現するために適切なKPIを設定・管理することが必要**です。

KPIの設定にあたっては、事業の成果・進捗を測るため、下記の基本的な視点に留意することが重要です。

視点		チェックリスト
視点1	「客観的な成果」を表す指標であること 総論 P16	☐ 成果・効果を捉えたアウトカム指標となっていますか？ ☐ 主観的でない、定量化されたKPIとなっていますか？
視点2	事業との「直接性」のある効果を表す指標であること 総論 P16	☐ 達成を目指す目標と交付金事業のKPIとの因果関係が明確になっていますか？ ☐ 交付金事業によって現れた成果だと説明できるKPIとなっていますか？
視点3	「妥当な水準」の目標が定められていること 総論 P18	☐ 目指す水準の根拠が説明できるKPIとなっていますか？ ☐ 費用対効果の観点からも妥当なKPIとなっていますか？ ☐ 到達を予見できる低い水準のKPIを設定していませんか？ ☐ 事業環境を踏まえた目標水準となっていますか？
その他	総論 P19	☐ 事業目的に合致したKPIが設定されていますか？ ☐ 複数の観点でKPIが設定されていますか？ ☐ 事業進行中を含む評価や進捗管理に適したKPIとなっていますか？ ☐ KPIや目標水準の検証を行うことになっていますか？

事業のPDCAの段階ごとの工夫・留意点について

PDCAの各段階において、事業の分野・テーマによらず共通的に工夫・留意すべきポイントは以下のとおりです。
 （事業の分野・テーマごとの工夫・留意点等の詳細については、ガイドラインの「各論」をご参照ください。）

段階	手順	チェックリスト	
Plan段階	事業アイデア・事業手法の検討	課題・ニーズの明確化 総論 P49	☐ 地域住民・事業者など地域の 課題、問題点を議論する場 を設定していますか？ ☐ 解決すべき課題の 優先順位や課題解決の手順 を決めていますか？ ☐ 地域の課題や問題点について、 感覚ではなく定量的・客観的に分析 を行っていますか？ ☐ 地域経済分析システム（RESAS）を活用 した課題分析を行っていますか？
		事業手法の検討 総論 P49～50	☐ 地域資源 （地域産業を支えてきた技術・ノウハウ、商品・サービス、自然や歴史・文化など）の 活用を視野 に入れて事業アイデアを検討していますか？ ☐ 前例を知る者や現場をよく知る者等、 外部人材の知見やノウハウ を踏まえた検討ができていますか？ ☐ 庁内の幅広い部局や様々な分野の民間企業と連携し、 異なる分野の政策との組み合わせ も含めた検討をしていますか？ ☐ 複数の地域間でノウハウや人材を融通 しあう連携を行っていますか？
	手順2：達成目標の確認	事業実施体制の構築 総論 P51	☐ 人脈・ノウハウなど地域の 既存の組織・ネットワーク を活用していますか？ ☐ 事業実施に係る関係者において、 責任所在の明確化、リスク分担 などの役割分担を明確にしていますか？
	事業の具体化	自立性の確保 総論 P52	☐ 交付金が終了した後も、事業が継続性を持って 自走していくことのできるプロセス （資金調達の方法や事業採算性など）が 明確 になっていますか？ ☐ 事業実施経験のある人材や、財務・経営の知識を持った外部専門家などを活用して 経営の視点からの検証 を行っていますか？
		達成すべき目標・水準の設定 総論 P52	☐ 達成すべき目標水準とその 達成までのプロセスやスケジュールを明確 にした工程計画を立てていますか？ ☐ 事業の 途中段階での成果や進捗を測ることのできるKPI を設定していますか？
	手順3：KPIの選定 手順4：目標水準の設定		
Do段階	事業の実施・継続	事業の実施 総論 P53	☐ 事業 実施主体間で緊密なコミュニケーション を行い、事業の問題やニーズの変化をリアルタイムに把握していますか？ ☐ 設定したKPIの達成状況を含めて、 定期的に進捗を確認 していますか？結果が伴わない場合、実施方法の見直しなどの軌道修正を行っていますか？
		事業の継続 総論 P54	☐ 事業の実施と並行して、 長期的な視点に立った人材の確保・育成 （キーパーソン、マンパワーの両方）を行っていますか？ ☐ 地域住民・事業者等に対し、 事業の目的や生じつつある効果等の情報提供 を通して、事業への理解醸成に努めていますか？ ☐ 地域住民・事業者や利害関係者が 事業に参加できる仕組み が整っていますか？
Check/Action段階	事業の評価・改善	事業の評価体制・方法 総論 P55	☐ 外部有識者を含む 検証組織や議会等による客観的な検証 を行っていますか？ ☐ 事業に関係する地域住民・事業者なども含めた多様な意見を吸い上げ、 KPIの達成状況にとどまらない多面的な評価 を行っていますか？ ☐ 未達成のKPIがある場合にはその要因を分析 し、問題点や課題を明らかにしていますか？
	手順6：KPIによる事業評価 手順7：評価に基づく事業改善	改善への取組 総論 P56	☐ 事業の評価を踏まえて 改善方針・改善策を明確 にし、実行に移していますか？ ☐ 改善方針・改善策は、 次年度以降の事業計画に反映 していますか？